

東日本大震災復興 海外研究者の提言

東日本大震災から1年が過ぎ、復興への動きが本格化し始めた。津波、東京電力福島第1原発事故からの再建はどのように進めるべきか。被災地を訪れた海外の研究者3人に具体的な提言を聞いた。

細かすぎる津波警報の情報

「東日本大震災の復興で提案はあるか。」

「津波で甚大な被害を出した。」

これが忘れ去られないように被災地に記念公園などを造り、津波の規模を後世に伝えるべきだ」

「震災前の日本の防災対策をどう評価するか。」

「これまでの技術や経験の中でしっかりとやっていったと思う。巨



アナワット・サッパシー氏
タイ出身。大をマ
バンコク出身。大をマ
学んだ。04年のス
学んだ。04年のス
トラ沖地震で津波に
関心を持ち、07年に
来日。東北大大学院
の研究者として東日
本大震災の津波を研
究。28歳。

東北大研究員 タイのサッパシー氏

大地震発生サイクルは100年から千年単位だが、人の命は長く100年。過去の大津波の記録が十分には残っておらず、歴史の限界を感じた。これからは個人も想定外を考えなければならぬ。浸水区域や避難区域を示すハザードマップをうのみにするのではなく、危ないと思ったらさらに高い所に逃げるべきだ」

「防災対策で改善すべき点はあるか。」

「情報の伝え方だ。津波警報の情報が細かすぎるのもっと分かりやすくすべきだ。また高い堤防を造るだけでなく、堤防が津波を防げない可能性があることも住民に十分伝える必要がある」

「タイは2004年のスマトラ沖地震で大きな被害を受けたが、津波対策は進んでいるか。」

「大津波に襲われたタイ南部プーケットでは再び海の近くにホテルが並んでいる。タイでは洪水の方が重視されていて津波に対する防災意識は低い。東日本大震災で津波が再度注目されるようになったので今後、日本での経験を伝えたい」

「震災発生時は何をしていたか。」

「仙台市の東北大研究室にいた。避難したが、津波の研究者として地震の規模や津波の情報を把握するのに必死だった」

「津波は東京電力福島第1原発事故も引き起こした。」

「三陸地方では明治や昭和時代に津波が来たが、福島県では比較的少なかった。一方で宮城県東北電力女川原発は無事だった。津波の経験値が明暗を分けたのではないか」